

令和元年7月17日

森林部門技術士会 会員各位

森林部門技術士会会長根橋達三

森林部門技術士会研究例会（森林環境部会）の開催について（ご案内）

（講演内容）

植物活性剤、化粧品原料等に利用されているフルボ酸は、日本の森林土壌中に含まれる有用な有機酸であることが知られているが、土壌中に微量しか含まれないことから大量に利用するために海外から採掘された有限資源から抽出されたものが輸入されて国内で利用されてきた経緯がある。こうした状況の中、間伐によって産出される木質チップと木炭等の生産過程で産出される有機酸を利用することによって有機物の縮合・重合を促して、人工的にフルボ酸を高純度で量産化できる画期的な技術を開発したことによって日本国内の災害現場だけでなく、海外の劣悪な土壌環境を改善してきた事例について解説する。

なお、この一連の技術の発明、展開によって、講演者田中賢治氏は、第28回地球環境大賞（農林水産大臣賞）を受賞している。

1. 日時：令和元年9月20日（金）15：00～17：00
2. 場所：日林協会館（千代田区六番町7番地）3F大会議室
3. 演題：森林資源を利用して量産化された高濃度フルボ酸による環境改善
講演者 国土防災技術株式会社 執行役員 田中賢治
4. 参加費（無料）
5. CPD：森林分野CPD、及び日本技術士会CPDの対象となります。
6. 森林部門技術士会事務局まで
E-mail : shin-gi@forest-pro.jp

以 上